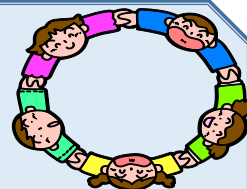


みんなそろって 輪になって



◇本年度の重点目標 ～笑顔いっぱい～

できた！わかった！がんばった！自信がついた！

第5号 令和7年8月28日

2学期も「笑顔いっぱい」で「できた」 と思える子どもたちを目指して

校長 石山 輝



30日間の夏休みが終わり、子どもたちの活気のある声が校内に戻ってきました。今年は、6月中旬から7月末まではとても暑い日が多く、8月以降どうなるのかと心配していましたが、8月も下旬を迎え、朝晩は涼しい日も多くなり、今のところ季節は順調に初秋へと向かっているように感じます。

とは言え、2年前には8月下旬に気温35度を連日観測し、初めて熱中症警戒アラートが発令されました。また、9月にはゲリラ豪雨により学校が停電となったこともあり、いずれも保護者の送迎をお願いしました。また、昨年は10月に学校の近隣でクマが出没し、登下校時の安全確保のため、1週間程度、保護者の送迎をお願いしました。2学期は長丁場であるため、このような自然災害発生時等の対応を含め、様々な場面で保護者の皆様のご理解ご協力をいただく場面があるかと思います。よろしくお願い致します。

さて、その長丁場である2学期は、様々な学校行事も控えています。本日28日は、一日防災学校があり、上川総合振興局の方や旭川地方気象台の方を講師に迎え、地震や風水害などへの対応について学習しています。5年生は、東聖小学校で志比内小学校の5年生と共に、3校合同防災学習を行います。また、4時間目には地震対応の「避難訓練」を行うなど、一日を通して防災について学習する日となります。29日（金）は、JA 東神楽青年部主催による「トウモロコシ収穫体験」があります。1～3年生が対象ですが、昨年は青年部の方々もたくさん収穫してくださり、4～6年生も持ち帰ることができました。

9月は3校合同の宿泊研修が大雪青少年交流の家で行われます。この3校合同宿泊研修は、東神楽町が平成31年から進めている小中一貫教育との関連で、中学校で顔を合わせる3校の5年生が交流を深めることがねらいの一つになっています。9月末には、「マラソン記録会」が開かれます。子どもたちは、中休みの東小タイムを使って、グラウンド内を走る取組を行っています。1学期後半は暑い日が多かったため、練習は不十分でしたが、これから涼しい日が増えてくれば、日々の練習も活発になってくると思います。

10月は学習発表会があり、その後、発表の集い「夢色シンフォニー」が行われます。町内の幼・小・中の代表が文化ホール「花音（かのん）」に集まり、歌や音楽を中心とした発表を行います。本校からは3、5年生が出演します。

このほかにも、様々な行事がありますが、大切なのは行事だけではなく、毎日の勉強や運動、そして友達との関わりです。2学期も様々なことに全力で取り組み、2学期の終わりには「1学期よりも、勉強や運動ができるようになった」「友達とも仲よくできた」などと、東小っ子一人一人が思ってくれていたら、とても嬉しく思います。2学期も教職員一丸となって「笑顔いっぱい」で「できた」と思える子どもたちを育てていきます。保護者や地域の皆様方におかれましては、1学期同様の温かいご支援をよろしくお願い致します。



中間学校評価結果 その1

1学期末に実施しましたアンケートにご協力いただきありがとうございました。結果の概要をお知らせします。

【評価】 肯定的評価（4+3）の合計
 A 目標+1%～ B 目標-19%～目標 C 目標-39%～目標-20% D ～目標-40%

子ども像 ・ 重 点	①求める子どもの姿	目 標	中間評価					
			子ども		教職員		保護者	
			達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価
やさしい子 (徳)	1 相手の気持ちを考える	94	93.7	B	76.2	B	86	B
	2 明るい挨拶	88	87.9	B	100	A	80	B
	3 友だちと仲良くしている	97	94.8	B	95.2	B	92	B
粘り強く学ぶ子 (知)	4 勉強がよくわかる	87	85.1	B	73.7	B	78	B
	5 学習する習慣	82	84.5	A	76.5	B	68	B
	6 学習や活動に臨む姿勢	77	85.6	A	68.4	B	53	C
	7 粘り強さ	86	90.8	A	83.3	B	74	B
	8 体験活動(体と心で感じ、学んでいく活動)	92			90.5	B	92	B
	9 遊びや運動の習慣化	88	89.1	A	100	A	83	B
	10 規則正しい生活	81	82.8	B	76.2	B	69	B
進んで体を鍛える子 (体)	11 健康への意識	90	96.6	A	100	A	81	B
	12 安全への意識	97	96	B	100	A	95	B

②重点目標達成のための具体的方策			教職員	
			達成率	評価
経営の基本	1 組織マネジメント	学校運営や教育活動の改善に向けて、各分掌等がチームとして協働して取り組んでいる。	95.5	A
	2 カリキュラム・マネジメント	カリキュラム・マネジメントの視点に基づき、教科横断的な内容の組み立て、評価と改善、地域の人的・物的な教育資源の活用ができた。	95.5	A
	3 学年・学級経営	子ども一人一人の変容や努力の過程を認め、励まし、自尊感情を高める働きかけを充実させた。	100	A
	4 課題解決型研修	ICT環境を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」を推進することができた。	85.7	A
	5 教育環境整備	子どもの机上やロッカー、靴箱など学習環境の整理整頓のため統一した指導を充実させた。	95	A
	6 危機管理	災害時の様々な場面を想定し、十分な備えができた。	85.7	A
	7 学校事務	円滑な学校運営に向けた日常的な課題や要望の把握に努めた。	95.5	A
	8 業務改善	業務改善や時間外勤務の削減を推進することができた。	100	A
	9 幼小・小小連携 小中一貫	業務改善や時間外勤務の削減を推進することができた。	86.4	A
	10 幼小・小小連携 小中一貫	小中一貫教育推進委員会の各部会を中心として、各校の情報共有が図られている。	100	A
指導の基本	11 国際理解教育	外国語専科と共に学習過程、評価について学び、学習指導への理解を深めることができた。	100	A
	12 情報教育	タブレット端末を積極的に活用し、児童の情報活用能力の向上に努めた。	80	A
	13 総合的な学習の時間	学年や単元のつながりを意識した指導を行うことができた。	95.2	A
	14 特別支援教育	校内及び関係機関等との連携により、児童の困難さに応じた支援に努めることができた。	100	A
	15 道徳教育	自分や友達のよさを実感できる場の設定と行動を行っている。	100	A

学校経営方針に対する教職員の
 取組自己評価

9月の行事予定

- 1日(月) 全校集会 給食管理実習～9/5
フッ化物洗口
- 2日(火) 校外学習(2年)
- 3日(水) 宿泊研修事前学習(5年特別支援)
- 5日(金) 校外学習(3年) 委員会
- 8日(月) 5年宿泊研修二校合同学習
- 10日(水)～11日(木) 5年宿泊研修
- 12日(金) 5年休養日 フッ化物洗口
- 19日(金) クラブ
- 22日(月) 芸術鑑賞会(3・4年)
- 24日(水) たてわり班
- 25日(木) 東中2年職場体験
- 26日(金) マラソン記録会 フッ化物洗口
- 29日(月) 代表委員会 通知表配付
- 30日(火) 臨時休業 中部地区研究大会

同窓会による「まなびや」の清掃

7月24日(木)、同窓会役員による開校100周年記念碑「まなびや」(義経公園内)の清掃がありました。1年間の汚れが溜まっておりましたが、水をかけてこすり、きれいになりました。

<参加者>

- 渡辺さん 松尾さん
- 安藤さん 中司さん
- 小畑さん 藤野戸さん
- 校長 教頭



中間学校評価結果 その2

全国学力・学習状況調査の質問紙と同内容で、全校児童が自分自身を振り返った結果（R 7 町教育行政執行方針を受けて）

③町教育行政執行の柱に関する内容		子ども	
		達成率	評価
1	自分にはよいところがある	88.5	A
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれている	88.5	A
3	将来の夢や目標をもっている	89.1	A
4	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	81.6	A
5	学校に行くのは楽しいと思う	81	A
6	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	81.6	A
7	学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	84.5	A
8	外国語の勉強がわかる	75.5	B

上川教育局等による各種調査に関わる内容

④児童特設		達成率	評価
1	課題の解決に向けて自分から取り組んでいる	86.8	A
2	授業で工夫して発表している	81	A
3	算数の勉強がよくわかる	86	A

学校や家庭での取組に対する教職員と保護者による評価

⑤保護者・教職員特設		教職員		保護者	
		達成率	評価	達成率	評価
教育活動のDX化	学校は、ICTを積極的に活用し教育方針や教育活動の様子を迅速に伝えたり、児童のICT活用能力を高めたりしている	95.2	A	92.2	A
いじめ防止	学校は、「いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ問題の早期発見、解決に努めている	100	A	93.1	A
地域との連携	学校は、PTAや学校運営協議会と協働し、地域の教育資源を活用して教育活動を推進している	100	A	99	A
メディアとのつきあい方	ご家庭では、メディアを使用する場合約束を決め、守らせている			83.7	A
小中連携	学校は、小中一貫教育事業の計画に基づいた推進により、中学校への円滑な接続が図られている	91	A		

どの項目も概ね良好でした。特に、「3 友達と仲良くしている」は、子ども、教職員・保護者の3者で90%を超えました。他に「8 体験活動」「9 遊びや運動の習慣化」で高評価になるなど、「知・徳・体」のバランスがとれています。

また、「地域との連携」の肯定的評価が教職員100%、保護者99%。「教育活動のDX化」が教職員95.2%、保護者92.2%。「いじめ防止」が教職員100%、保護者93.1%と高評価でした。

◆文章記述より

○継続したいよさ（教職員・保護者記述）

次のよさを保護者や地域の方々と共有したいと考えます。

- ・困っている人への手助け
- ・家庭で経験を積むことの難しい行動面での学校での学び
- ・異学年間のコミュニケーションの質の高さ
- ・学校外で、自らの挨拶や挨拶された際の返答
- ・地域の施設職員に感謝の気持ちの表現
- ・地域資源の教育活動への上手な活用

△課題（保護者記述）

校内各担当による2学期や次年度へ向けての話し合いの際に、教職員による振り返りと同様に検討材料とさせていただきます。

- ・時間を守った規則正しい生活
- ・準備、片付け、整理整頓の習慣
- ・学習習慣の定着
- ・家庭学習の内容
- ・タブレットを使う際の姿勢や画面の距離
- ・吹奏楽等音楽に触れ合う機会